



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局
京都国道事務所
資料配布

配布日時	平成30年 2月 5日 14時 00分
------	------------------------

件名	京都での観光渋滞対策について地元で議論 ～第1回京都エリア観光渋滞対策実験協議会を開催～
----	---

概要	<p>国土交通省では、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実証実験を実施する2地域を選定※しました。</p> <p>※この他、今後の取組方針や実験計画等の更なる具体化に向けて検討を行う地域として2地域選定している。</p> <p>このたび、実験実施地域として選定された京都において、実験内容の検討・分析や関係機関との調整を行うため、有識者や関係機関により構成される「京都エリア観光渋滞対策実験協議会」を設置し、下記のとおり開催します。</p> <p>■第1回京都エリア観光渋滞対策実験協議会</p> <p>日時：平成30年2月7日（水） 17時30分から</p> <p>場所：京都国道事務所 5階 会議室 (京都市下京区西洞院通塩小路下る南不動堂町808)</p> <p>委員：別紙のとおり</p> <p>議事（予定）：1. 協議会の設置について 2. ICT・AIを活用したエリア観光渋滞対策について 3. 京都市の提案内容について 4. ETC2.0データ・車両感知器データを活用した渋滞状況分析例 5. 今後の進め方について</p> <p>※会議は非公開とします。ただし、報道機関に限り、会議冒頭の会長挨拶までカメラ撮り可能です。</p> <p>希望される報道機関の方は前日（2月6日17時）までに以下の問い合わせ先までご連絡ください。</p>
----	---

取扱い	—
-----	---

配布場所	京都府政記者クラブ、京都市政記者クラブ
問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所 副所長 <small>いまし ひでき</small> 今西 秀樹 (内線204) TEL 075-351-3300 (代表)

京都エリア観光渋滞対策実験協議会
委員名簿（案）

委員	所属
宇野 伸宏	京都大学大学院工学研究科 教授
宗田 好史	京都府立大学 副学長
山田 忠史	京都大学大学院経営管理研究部 准教授
瀬戸下 伸介	国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路研究室 室長
中川 圭正	国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課 課長
中尾 勝	国土交通省 近畿地方整備局 道路部 交通対策課 課長
田中 哲也	国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所 所長
島田 智雄	京都府 建設交通部 理事（道路計画課長事務取扱）
姫野 敦秀	京都府警察本部 交通部 交通規制課長
高畑 重勝	京都市 都市計画局 歩くまち京都推進室長
福原 和弥	京都市 産業観光局 観光MICE推進室 MICE戦略推進担当部長
市橋 英人	京都市 建設局 建設企画部 技術統括担当部長
宮田 英喜	京都市 交通局 営業推進室長
北川 洋一	（公社）京都市観光協会 事務局長
窪田 裕幸	京都商工会議所 産業振興部長
中島 大介	西日本旅客鉄道（株）近畿統括本部 京都支社 地域共生室長

取材 FAX申込書

京都国道事務所 計画課 宛

FAX番号:075-351-3442

2月6日(火) 17時締め切り

貴社名	
ご参加人数	
ご担当者氏名	氏 名 所属部署名等
ご連絡先	郵便番号 — 住 所 電話番号 () FAX番号 () E-mail @

※送付状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所

副 所 長 今西 秀樹 (いまにし ひでき)

TEL 075-351-3300 (代表)

ICT・AIを活用した観光渋滞対策

- 観光地周辺で広域的に発生する渋滞を解消し、回遊性が高く、円滑な移動が可能な魅力ある観光地を創造するため、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実験・実装を推進・支援。

革新的な技術



ICT

- ETC2.0、高度化光ビーコン、AIカメラ等で人や車の動きを収集
- AIの分析・予測結果に基づき人や車の流れを最適化



AI

- 過去の渋滞発生履歴をAIが学習・分析
- 交通の変化をAIが判断し渋滞発生を予測

ビッグデータ(観光客・車・公共交通等)

エリアマネジメント

観光交通イノベーション地域



交通需要マネジメント(TDM)

信号制御、交通規制等

道路空間の再編

等

(参考) 主なICTの例

ETC2.0

ETC2.0車載器と路側機との通信により、プローブ情報(位置、速度、急ブレーキ、経路等)を収集



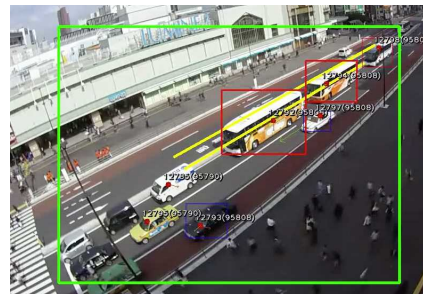
※柔軟に設置・計測が可能な、可搬型のETC2.0路側機について、導入予定

AIカメラ



AIによる画像処理で交通量調査、自動車起終点調査をIT化

車(交通量等)

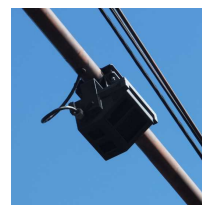


人(利用者数)



高度化光ビーコン

高度化光ビーコン



- ・渋滞情報・旅行時間情報
- ・信号情報等



- ・プローブ情報等



高度化光ビーコンと対応車載機との双方向通信により、交通情報(渋滞、旅行時間、信号情報等)の提供、プローブ情報等の収集

今後のスケジュール

平成29年8月2日(水)～21日(月)

観光交通イノベーション地域※の公募

※ 国土交通省で、警察や観光部局とも連携しながら、
実験・実装を重点的に支援

※ 今後、エリアプライシングの導入を検討している地域

平成29年9月7日 地域選定

今後継続的に取組

実験(H29年秋以降、順次)

まずは、ETC2.0等の既存の技術をフル活用し
詳細分析をした上で、H30年度より新たな
技術の実証を行う予定

実装

他の観光地への展開

オープンイノベーション

(産・学)

- 新たな要素技術の公募
(平成30年1月23日から公募中)
- オープンデータ
- 新たなエリアマネジメント方策
の提案

新技術を適用するための 制度検討 (官)

実験実施地域 選定結果

鎌倉市・京都市

【選定理由】

地域の課題や、これまでの取組を踏まえ、面的に観光渋滞対策を行うエリアの絞り込みが行われている。

こうした地域の取組と連携することにより、ICT・AIを活用した観光渋滞対策の実装が期待できる。

今年度から、ICTによる人や車の動向把握等の実証実験に着手するなど、エリア観光渋滞対策の実験実施地域として選定。

軽井沢町・神戸市

【選定理由】

地域の課題やこれまでの取組を踏まえ、面的に観光渋滞対策を行うエリアの絞り込みを行うことが必要。

今後、対策実施エリアの絞り込みに向けた検討等を進めることにより、実験実施環境が整うことが期待される。

今年度は、今後の取組方針や実験計画等の更なる具体化に向けて、検討を行う地域として選定。